



今年度の地域学習の取組

宇治支援学校は、今年度も地域と連携し、地域に貢献できる学校を目指して、日々教育活動に取り組んできました。様々な制限がある中、リモート交流や展示等、地域の方々とながら学習に取り組むことができました。今年度の地域学習の取組を振り返ります。

地域学習の基本的な考え方

- 地域社会を学習環境としてとらえ、これらを学習活動に積極的に取り入れた活動を展開し、児童生徒の生活の質を高め、よりよく生きる力の育成につなげる。
- 地域社会と協働した学習を進めることにより、地域社会における障害のある児童生徒の理解を広げ、共生社会の形成に努める。

地域学習の観点と今年度の取組の例

①地域について学ぶ

小学部は、地域のおすすめの場所やお気に入りの場所を校内の先生方に聞き取ったり、交通规则を学んだりしました。中学部は宇治の特産物であるお茶を摘む体験やおもてなしの学習を行いました。



②将来の生活の質を高める

高等部は、妊娠出産について学んだり、赤ちゃん人形を抱っこしたりしました。スマホ安全教室や税についての学習でも、専門家の方からお話を聞きました。



③障害のある児童生徒への正しい理解を広げる

高等部は、校外での清掃活動や地域の方々に向けたカフェテラス JOY での活動、野菜の校門販売も行いました。中学部は、サンガスタジアムやホテルロビーでの美術展示を行い、たくさんの方々に見ていただく機会がもてました。



今年度も地域の方々に御協力をいただき、様々な活動を展開することができました。ありがとうございました。